

Photo Scavenger Hunt



フォト・スカベンジャーハント

街を巡って写真を撮ってチームビルディング

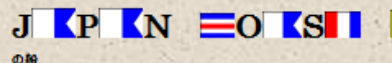
スカベンジャーハントとは「がらくた集め」のことを意味します。このスカベンジャーハントは、アメリカやヨーロッパでは子供から大人まで誰もが1度は体験したことがあるポピュラーなレクリエーションです。スカベンジャーハント専門の会社もあり、チームビルディングプログラムとして様々な場面で取り入れられています。私たちが提案するこのプログラムは、物を集める代わりに写真を撮影する「Photo Scavenger Hunt」です。

このプログラムは指定エリア内を巡り、「問題リスト」にある謎問題を解いて、制限時間内に写真に撮ってくるものです。謎問題の選び方、時間配分、ルートなど、あらゆる要素を考慮してチームで高得点を目指します。「自分の強みとチーム内での役割分担」に焦点を当てたレクリエーション要素も強いプログラムです。

※実施可能エリア：浅草、お台場、みなとみらい、横須賀、京都



【T2】以下の暗号が示すものが背景になっている写真



こんな状況の時に / こんな目的で

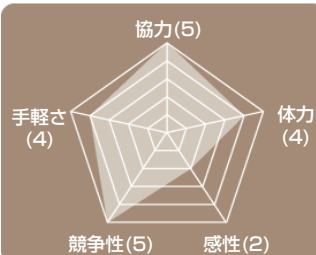
■ 社員旅行を意味のあるものにするために！

ただの社員旅行では盛り上がらないし、会社への説明もしにくい。
そんなときに楽しみながら、チームワークも身につけられるプログラム。

■ お互いの強みや特性を知り合うきっかけがほしい！

数字系、国語系、音楽系、なぞなぞ系など、問題リストには多様な種類の謎問題がある。
お互いの得意なことや強み、思考の傾向などを知り合う機会に！

Radar Chart



対象者

部署全体、内定者、
新入社員、マネージャー

人数

8～100名

時間

3～4時間

会場

屋外と研修室など
実施エリア：浅草、お台場、
みなとみらい、横須賀、京都

ねらい

- メンバー同士の懇親・交流を深める。
- チーム内での役割分担について、気づきを得る。
- お互いの異なる特性を知り、活かす合うことを体験する。



参加者の声




- チームでの問題解決方法を意識させられた。
- 役割分担を明確にすることで問題がスムーズに解け、効率的なルートを確保できた。
- 写真が残るのがうれしい！ 違う部署の人たちとも打ち解けられるいい機会になった。

プログラム進行例

時間	内容	
13:00 (30分間)	<p><導入・アイスブレイカー> 全体の流れの説明を行った後、コミュニケーションを活性化する簡単なアイスブレイカーを行う。</p> <p><ルール説明> 第1ラウンドに向けて準備を行う。</p>	屋内
13:30 (45分間)	<p><第1ラウンド> 第1ラウンドでは、比較的簡単な謎問題に挑戦。第2ラウンドに向けて、まず行動してみることが求められる。</p>	
14:15 (30分間)	<p><中間リフレクション（振り返り）> 「どこがうまくいったのか？」または「なぜ、うまくいかなかったのか？」さらに「次につなげるにはどうしたらいいのか？」という視点で振り返り、次の計画を考える。</p>	屋内
14:45 (90分間)	<p><第2ラウンド> 第2ラウンドでは、より時間が長く、謎問題の難易度も高くなる。リフレクションと計画を活かして行動する。</p>	
16:15 (45分間)	<p><リフレクション（振り返り）> 全体を通して振り返り、今回のチームでの体験を仕事でのチームワークに落とし込む。 体験から学んだことをベースとして、お互いの気づきや学びを共有する。</p>	屋内
17:00	< 終了 >	


謎問題サンプル

Q1

Hold  in hand.

→

A




正解

Q2

「まつあをのかとくいれるく」を
1 2 3 4 5 6 7 8 9 * 0 #
にあてはめる


→

A



正解

あかいくつのくるまをとれ


 横に入れて
縦に読む